

2014年1月31日

中国の高純度アンモニア製造拠点の増強を完了

－半導体向け高純度ガスの供給体制を強化－

昭和電工株式会社（社長：市川 秀夫）は、半導体製造用特殊ガスのひとつである高純度アンモニアの供給能力を拡大する目的から、中国浙江省にある製造子会社の設備を年産能力 1,000 トンから 2,000 トンに引き上げ、本年1月より運転を開始しました。

高純度アンモニアは、液晶パネルや化合物半導体（LED）などの製造工程において窒化膜形成用ガスとして使用される特殊ガスです。LED は一般照明や液晶ディスプレイのバックライトに使用されますが、現在中国では、一般照明用途に加え景観照明用や大型スクリーン用に市場が拡大しています。これに伴い、製造拠点が集積する東アジアでの高純度アンモニアの需要拡大にあわせ、今般、供給体制を強化しました。

当社は日本・台湾・中国に高純度アンモニアの製造拠点を有しますが、今回の増強により、3 拠点合計の能力は 6,000 トンになります*。当社では、現在推進中の中期経営計画“PEGASUS（ペガサス）”フェーズⅡにおいて、半導体高純度ガスを成長事業に位置づけており、本年においてはさらにグローバル展開を推進し、アジアの生産・物流拠点の強化を進め、拡販に注力していきます。

以上

*当社の高純度アンモニア製造拠点と 2014 年 1 月 31 日現在の年産能力

- (1) 日本：昭和電工株式会社川崎事業所（川崎市） 1,500 トン
- (2) 台湾：台湾昭和化学製品製造股份有限公司（台南市） 2,500 トン
- (3) 中国：浙江衢州巨化昭和電子化学材料有限公司（浙江省衢州市） 2,000 トン

◆本件に関するお問い合わせ先 広報室 03-5470-3235

【浙江衢州巨化昭和電子化学材料有限公司】

